

# 俳句を楽しむ会

## 優秀作発表

頂いた句の中で、春の暖かさを感じるものが多くなってきました。「古茶を炒る」から「新茶」の季節に移っていきます。新しい息吹が感じられます。

菱和園の新茶は、お茶の葉が持つている本来の味を引きだし、美味しい・旨いと言って頂けるお茶を皆様のお手元に届ける努力をしております。

菱和園の新茶にご期待ください。



お茶の持つ味と香りを最大限に引きだし時間をかけていねいに仕上げました。

### 勢子百人お茶がくばられ富士野焼

(富士吉田) 青柳時子

早春、晴天で風のない日を選んで行う野焼。野焼は害虫を駆除し草の成長を促す。岳麓の大字原に勢子百名を動員してのものだ。手に配られたお茶。快晴の空に、燦然と輝く雲峰富士。

### お茶に呼ぶ駐在さんや揚雲雀

(身延) 千須和清光

「駐在さん」と親しまれている駐在所の巡りさん。近所で、お巡りさんの都立がつけばと安茶をさきい。

### ほろほろと母の遺せし古茶を炒る

(市川三郷) 河西五十鈴

旧暦、百歳の天寿を全うし他界されたご母堂。教育者として、一般市井の人として立派な人生をおくれた。お母さんがよく炒ってくれた古茶。その頃を偲んで炒ってみる。ほろほろと……母恋し

### 新茶汲む妻が隣に五十年

(都留) 磯村桂川

金婚式も終え、ご夫婦の生活も五十年。平穩のようでも、山もあり谷もあった。びったり寄り添ってくれた奥さん。「妻が隣に五十年」とは、よく言いも言ったり。大好きな新茶をいれて、ただ「ありがと」。

### 茶断ち終え新茶味わう朝かな

(富士吉田) 小山田健文

神仏に何か大きな願掛けをしたのであろう。或る期間大好物の茶を断って精進された。無事満願も成就し、願掛け期間も今日で完了。くしくも新茶の季節。さいさきよい朝茶を先ず神仏に供え、感謝するのだ。

#### 佳作

つつましき茶巾を洗ふ水温む

(身延) 小林利典

しづく切る茶筌に所思や利休の忌

(甲府) 藤原時男

母偲び墓前の茶会春彼岸

(甲州) 古屋 福治

解雇さる冬に和んだ熱いお茶

(山梨) 雨宮 五郎

春浅し朝茶濃き目をみ仏に

(甲府) 川崎とし子

帰省して八十八夜の茶摘かな

(中央) 佐野かほる

茶柱の見事立ちたる春の雷

(山梨) 梅木 外以

卒業の吾子帰り来し茶会席

(甲府) 横田 義雄

点心はなけれどまずは新茶かな

(市川三郷) 笠 静祥

早摘みの新茶の香り手に残り

(南部) 佐野 正雄

うららかなシャブさとお茶と和みけり

(甲府) 三枝 風樹

薫風や畦に腰かけ番茶飲む

(富士吉田) 田辺義樹

#### 次回作品募集のご案内

- 次の応募締切は六月三十日(火)消印有効になります。
  - テーマは、新茶や茶摘みなど、季節の中でお茶を楽しむ俳句を募集します。
  - 応募頂いた作品の中から優秀な作品には素敵なプレゼントを用意しています。
  - 発表は年四回新聞にて発表します。
- 選者は県内で俳句活動を行われている渡辺柳風先生にお願いいたします。(先生には選考にあたり表現上の添削もお願いしてあります。ご了承下さい)

**応募方法**  
● ハガキで菱和園本店まで郵送していただくか、左記直売店までお持ちください。お一人様何点でも応募できます。● 応募いたたく作品は未発表の物に限ります。また、応募作品は返却いたしません。● 作品には応募者の住所、氏名、年齢、電話番号を「記入ください」。ペンネームで応募される方はペンネームの下に(本名を括弧で囲んでください)。

味と香りの「コンプレクシオン」



本店 山梨県甲府市太田町四一七  
TEL・0555(2)355075

直売店  
 ■太田町本店 ■ジョイ店  
 ■リバーシティ店 ■湯村店